

# 鳳鳴中学2学年通信 SCRUM 2020年度

2020. 6. 1 No. 4

## ついに、再開っ！

◆ 待ちに待った学校生活  
再スタート！です！



◆ 長い家庭での自粛生活  
でしたが、君たちの事  
だから、きっと 自主学習に お手  
伝いに … と、しっかりと  
過ごしたのでしょうか！



◆ さあ、みんなと一緒に  
「学び」の日々の再開！  
新たな決意で、一日一日を大切に  
積み上げていきましょう！

● 絶対に冷静に行動しよう！と決める ●

新型コロナウイルスの感染が広がる中、医療関係者やその家族への偏見や差別が深刻になっている。医師らが感染した兵庫県の病院では、職員や家族らが差別された。引越す時に業者からキャンセルされたり、タクシーに乗車拒否されたり…。病院受付をしている人が、別の職場で「ばい菌をまき散らすから来るな」と言われたという。



いわれなき人権侵害であり、断じて許されない。医療関係者は感染のリスクにさらされながら、命や健康を守るため懸命に働いている。感謝や敬意こそ、私たちは示すべきだろう。病気の被害者である感染者やその家族への偏見も放置できない。三重県では、家に石が投げ込まれたり壁に落書きされたりする被害があったという。

クラスター(感染者集団)が起きた広島市内の障害者施設では、電話が鳴りやまず、「感染した職員をクビにしろ」といった批判も届いたという。同じくクラスターが発生した三次市内のデイサービスセンターでも、暴言を吐かれたり、離れて暮らす家族が会社から出勤を禁じられたりしたそうだ。



新型コロナウイルスは 誰もが感染し得る、誰もが気付かないうちに他人に感染させてしまう可能性を持っているのだ。では、偏見や差別をなくすにはどうすればいいか…。確かな情報を広め、差別的な言動に同調しないこと。生活習慣を保つこと、不安に振り回されないこと。そうしたそれぞれの立場でできることを行って、負の連鎖を断ち切ること。

私たちが向き合う相手は ウイルスであって、誰もがなり得る感染者ではない。再認識して 冷静な行動を心掛けたい。 —中国新聞記事より—

■ 六月号のテーマは「生命」。「大切なこと」とわかっています。でも読んでみてください。何か感じるはずです。■

◆ 今日から6月という新しい月がスタートし、夏服に身を包んだ子ども達の笑顔が、教室に満ちています。… 私にとって、この6月1日という日は、忘れられない、忘れてはいけない、「特別な日」なのです。今日は、真剣に、こんなお話をします…。 [年に一度のお話です。]

藤川先生の  
真剣なお話  
です…。

## — 私が「先生」になって二年目のできごとから —

◇ 「あなたは、つい数分前まで、自分のそばにいた人が、一瞬にして この世からいなくなってしまう… そんな経験をしたことがありますか。」… 先生はあります。先生になって 二年目。初めて中1の担任をしました。



◇ 新学期がスタートして二ヶ月。6月1日…。雨の日。下校中の12歳の男の子の「生命」を突然、奪った交通事故…。知らせを受けて、駆けつけたとき、男の子の顔は、いつもの男の子の「顔」をしていませんでした…。 「がんばれよ」一生懸命、人工呼吸をしました。一瞬 男の子が「目」を開きました。先生と目が合ったのです…。でも、その目は、二度と 開くことはありませんでした…。

◇ 救急車に一緒に乗り、男の子の「手」をずっと握りしめていました。どンドン、冷たくなって いくんです…。病院の廊下で聞いた、やけに規則正しい 機械の音…。駆けつけてこれ、医者「残念ですが…」と 死を宣告され、私の隣のイスに どんかと くずれ落ち、泣き叫ばれた、お父さん…。 「どうして こんなことにい」 大声で、叫び泣く、お母さん…。

◇ やっと 通していただいた 病室で、静かに横たわる男の子の「頭」を、教室でするように そっと なでてみました…。 「先生！あのねえ…」と、いつも「笑顔」で、語りかけてくれたのに…。もう、何も 言ってはくれない…。あとに残ったのは、大きな大きな 悲しみと、「笑顔」しかない男の子との思い出と、あごひもが引きちぎられ 傷だらけになった ヘルメット…。

◆ 先生は、これらの場面を、決して忘れない。そして、「教師」を続けていく限り、生徒に、「生命の大切さ」を、自分の「身を守る」ための行動を、真剣に 訴えていきたい、と思います。先生の右手に いつもある、この「数珠」には、男の子のことを 決して忘れず、一生懸命 彼のぶんまで生きていく… そんな「思い」が 込められているのです。

◆ 「一番大切なものは？」と きかれたら、迷わず「生命」と 答えます…。みんなに 覚えておいて欲しいこと、それは「人の生命の尊さ」ということ。決して、「生命」を そまつにはしては ならない、ということ。「自分の生命」を、「自分自身」を 大切にすること。そして、自分の周りにいる 仲間の「いのち」を 大切にすること。



大切にされなくていい「生命」、大切にされなくていい「人」なんて 一人もいないのです。

# 先生の数珠の意味